

選挙管理委員会事務局

事務事業評価票

事務事業				所管課	選挙管理委員会事務局				
事業番号	0102500	事務事業	法令等追録事務事業			細事業	選挙管理委員会事務局関係事務事業		
事業目的	選挙執行上の基本となる、最新の法令等を確認できる状態にしておく。								
事業対象	事務局職員	事業概要	関係図書の加除整理を行い、最新の法令を確認できるようにしておく。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名		
						●			
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度		
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比
	84,296	79,000	26,016	32.9%	87,000	110.1%	73,000	▲ 14,000	83.9%
事業の重要業績評価指標 (KPI)									
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度			
				上半期	下半期 (見込み)	目標値			
加除追録回数 (回)		32	9	15	17	27			
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)								
	現状維持	選挙事務を法令に基づき適正に執行するためには常に最新の参考図書を備えておく必要がある。その年度の法改正の回数や内容により加除の回数に増減が生じてしまう。東京都選挙管理委員会や関係団体からの通知やインターネットなどを通じて得られた情報と併せて有効に活用することができるため、現状のまま進めていく。							
令和4年度予算編成	現状分析								
	視点	現状分析	理由 (根拠)						
	事業目的に対する有効性	普通	公職選挙法の改正に合わせて最新の参考図書を備えておく必要がある。						
事業実施方法の妥当性	普通	業者による加除整理が行われており、実施方法については妥当である。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方									
現状維持	選挙事務遂行上必要となる関係図書を整備する。公職選挙法の一部改正に合わせて常に最新の状態にする必要がある。								

事務事業評価票

事務事業評価票				所管課	選挙管理委員会事務局					
事業番号	0113300		事務事業	選挙管理委員会事務事業			細事業	—		
事業目的	公職選挙法に基づき、各種の選挙（市議会議員、市長、国会議員、都議会議員及び都知事）が適正に管理執行されている。国民投票の執行や地方自治法に基づく直接請求の署名審査に関する事務、検察審査会法に基づく検察審査員候補者の選定に関する事務及び裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づく裁判員候補者の選定に関する事務が執行されている。									
事業対象	選挙管理委員		事業概要	定例委員会、臨時会を開催し選挙人名簿の登録の決定や、各種選挙における重要事項を審議し決定する。検察審査員候補者及び裁判員候補者の選定をくじ引きにより行う。全国市区選挙管理連合会などの上部団体の会議、研修会などへ参加する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名			
	●	●								
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	3,506,158	3,491,000	3,417,081	97.9%	3,472,000	99.5%	3,472,000	0	100.0%	
事業の重要業績評価指標（KPI）										
指標名（単位）		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度				
				上半期	下半期（見込み）	目標値				
委員会開催回数（回）		21	16	13	11	16				
令和2年度決算	今後の進め方（成果と課題）									
	現状維持	地方自治法等の規定に基づき、選挙管理委員会の運営を行っている。今年度は東京都知事選挙を執行した。コロナ禍という誰も経験をしたことの無い状況下での選挙であったが、感染対策を行い無事に管理執行することができた。今年度は都市選連の副会長であり、全選連の常任理事として、理事会や研修会等への参加を予定していたが、コロナウイルス感染対策としてほぼすべての会議が中止、もしくは文書による協議となった。今後においても適正な選挙の執行に向け委員会の開催など現状どおり進めていく。								
令和4年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由（根拠）							
	事業目的に対する有効性	高い	公職選挙法に基づき、各種選挙を適正に管理執行している。国民投票の執行や地方自治法に基づく直接請求の署名審査に関する事務、検察審査員候補者及び裁判員候補者の選定に関する事務を執行している。							
	事業実施方法の妥当性	高い	定例会及び臨時会を開催し各種選挙の管理執行、検察審査会及び裁判員候補者のくじ引き、署名簿の審査等、委員の合議により議決している。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
現状維持	令和4年度は任期満了に伴う参議院議員選挙を管理執行する。新型コロナウイルス感染防止対策により会議や研修会の開催が中止されたが、次年度は開催を前提に旅費等の予算を計上する。									

事務事業評価票

所管課

選挙管理委員会事務局

事業番号	0113400	事務事業	選挙関係の一般事務事業				細事業	—		
事業目的	選挙管理委員会事務局における庶務的な事務を適切に執行する。									
事業対象	選挙管理委員会事務局		事業概要	選挙管理委員会事務局の庶務的な業務として消耗品の購入やファクシミリの通信費の計上、文書管理規定に基づく文書の発送や收受などを行う。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名			
		●								
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	125,160	127,000	114,389	90.1%	160,000	126.0%	626,000	466,000	391.3%	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
文書取扱件数 (件)		647	634	310	330	640				
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	現状維持	選挙管理委員会事務局における文書管理等の庶務的な事務を行っており、事務局の運営を進めることができた。今後も円滑に事務が進められるよう適正に管理していく。								
令和4年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	普通	選挙管理委員会事務局の庶務的な業務を行っており、事務局の運営に必要である。							
	事業実施方法の妥当性	普通	事務局の運営が円滑に行われており、実施方法は妥当であると考えられる。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
現状維持	事務局の運営を円滑に進めるため、必要な予算を計上する。									

事務事業評価票

所管課

選挙管理委員会事務局

事業番号	0113500	事務事業	選挙人名簿事務事業	細事業	—				
事業目的	公職選挙法に基づく選挙人名簿を適切に整備し、管理を行う。 在外選挙人名簿の調整や失権者名簿の管理など他市区町村や海外公館からの通知に基づき適正に行われている。								
事業対象	選挙人名簿、在外選挙人名簿登録・抹消対象者	事業概要	公職選挙法第19条に基づく選挙人名簿の調整及び第30条の2に基づく在外選挙人名簿や第11条に基づく失権者の管理業務を行う。 政治活動や学術調査のための選挙人名簿の閲覧への対応をおこなう。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名		
	●								
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比
	24,318	45,000	8,120	18.0%	45,000	100.0%	81,000	36,000	180.0%

事業の重要業績評価指標 (KPI)

指標名 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度 目標値
			上半期	下半期 (見込み)	
選挙人名簿 (在外含む) 登録者 (人)	104,853	106,228	107,042	107,000	108,000

令和2年度決算

今後の進め方 (成果と課題)

現状維持

通常時及び選挙時における名簿の調整を適正に行うことができた。在外選挙人名簿の出国時申請も浸透してきており、出国時申請をする市民の割合は多くなっているが、コロナウイルス感染の影響により例年に比べ登録数は少なかった。
選挙人名簿の閲覧については、コロナウイルス感染対策の為、受け入れ人数や時間に制限を設けて行った。
選挙人名簿の調整や閲覧業務については、今後も法に基づき円滑に事務を進めて行く。

令和4年度予算編成

現状分析

視点	現状分析	理由 (根拠)
事業目的に対する有効性	高い	年4回の定時登録及び選挙時の登録名簿を電算処理にて調整している。また、閲覧業務に対応するため、紙の名簿も作成している。
事業実施方法の妥当性	普通	選挙人名簿の調整については住民基本台帳より電算処理にて抽出し調整している。在外選挙人名簿については登録数も少ないため、エクセルデータにより管理している。

次年度の実施方針と予算計上の考え方

現状維持

令和4年度についても引続き、名簿の調整、閲覧業務を行う。予算については在外選挙人名簿の登録、抹消に要する郵送料を計上する。

事務事業評価票

事務事業			所管課	選挙管理委員会事務局					
事業番号	0113700		事務事業	選挙常時啓発事務事業			細事業	—	
事業目的	公職選挙法第6条の趣旨に基づき選挙が公明かつ適正に行われるように、有権者の政治意識の向上に努める。また、市民全体が選挙に対して関心が持てるよう明るい選挙の推進を図る。								
事業対象	市民		事業概要	明るい選挙推進協議会と協力し、ポスターコンクールや話し合い活動、選挙啓発講演会などの事業を行う。国分寺まつりでの模擬投票や中学校の生徒会役員選挙への選挙機材の貸出しを行う。					
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名		
	●								
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度		
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比
	1,466,605	1,405,000	1,212,455	86.3%	1,567,000	111.5%	1,498,000	▲ 69,000	95.6%
事業の重要業績評価指標 (KPI)									
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度			
				上半期	下半期 (見込み)	目標値			
明るい選挙推進協議会啓発活動 (回)		37	6	2	4	12			
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)								
	現状維持	コロナ禍において、イベントの中止が相次ぎ予定していた啓発活動が中止となった。中でも、明るい選挙啓発ポスターコンクールと学芸大学の学生との話し合い活動、広報誌「しろばら」の発行をすることができた。また、市内中学校3校の生徒会役員選挙に選挙資材の貸出しを行うことができた。コロナ禍により思うように啓発活動に取り組みなかったが、啓発活動は引続き進めて行く必要がある。							
令和4年度予算編成	現状分析								
	視点	現状分析	理由 (根拠)						
	事業目的に対する有効性	高い	ポスターコンクールについては、審査員の人数を制限するなどして実施。コロナ禍において中止となった啓発事業も多いが広報誌の発行をととして選挙啓発を行っている。バースデーカードの送付など新有権者への啓発を行っている。						
	事業実施方法の妥当性	高い	明るい選挙推進協議会と協力し啓発活動を行っている。						
次年度の実施方針と予算計上の考え方									
現状維持	明るい選挙推進協議会の啓発活動については新型コロナ感染拡大防止に努め実施できるよう予算を計上する。								

事務事業評価票

所管課

選挙管理委員会事務局

事業番号	0113900	事務事業	参議院議員選挙事務事業				細事業	—		
事業目的	令和4年7月25日任期満了の参議院議員選挙を管理執行する。									
事業対象	選挙人、候補者、事務従事者		事業概要	公職選挙法に基づき、選挙人名簿の調整や入場整理券の発送、ポスター掲示場の設置等の準備や、当日や期日前の投票所の運営、不在者投票・在外投票の受付や事務処理、開票等の一連の事務を滞りなく適正に執行する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名			
	●	●								
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	53,260,314	—	—	—	—	—	71,790,000	—	—	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
投票率 (%)		57	—	—	—	60				
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	—	—								
令和4年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	高い	任期満了に伴う参議院議員選挙を適正に管理執行する。							
	事業実施方法の妥当性	高い	公職選挙法に基づき、参議院議員選挙に必要な事務を滞りなく適正に執行している。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
現状維持	任期満了に伴う参議院議員選挙を執行するため必要な予算を計上する。 投開票事務に使用する機器の一部買い替えを行う。									

事務事業評価票

事務事業			所管課	選挙管理委員会事務局					
事業番号	0114100	事務事業	都知事選挙事務事業			細事業	—		
事業目的	7月30日任期満了の東京都知事選挙を適正に管理執行する								
事業対象	選挙人、候補者、事務従事者	事業概要	公職選挙法に基づき、選挙人名簿の調整や入場整理券の発送、ポスター掲示場の設置等の準備や、当日や期日前の投票所の運営、不在者投票の受付や事務処理、開票等の一連の事務を滞りなく適正に執行する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名		
	●	●							
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度		
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比
	—	48,785,000	48,497,776	99.4%	—	—	—	—	—
事業の重要業績評価指標 (KPI)									
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度			
				上半期	下半期 (見込み)	目標値			
投票率 (%)		—	59.70	—	—	—		—	
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)								
	現状維持	今年度の東京都知事選挙はコロナ禍という誰も経験をしたことの無い状況下での選挙であったが、感染対策を行い無事に管理執行することができた。cocobunjiプラザ期日前投票所では、投票を待つ行列ができてしまったが、受付人員を増やし対応することで解消することができた。今後も天候や利便性により期日前投票利用者は増加する傾向にあるため、人員配置や受付方法について検討が必要である。							
令和4年度予算編成	現状分析								
	視点	現状分析	理由 (根拠)						
	事業目的に対する有効性	—	令和4年度は都知事選挙を執行する予定はなく、予算計上していない。						
	事業実施方法の妥当性	—	令和4年度は都知事選挙を執行する予定はなく、予算計上していない。						
次年度の実施方針と予算計上の考え方									
—	令和4年度は都知事選挙を執行する予定はなく、予算計上していない。								

事務事業評価票

事務事業			所管課	選挙管理委員会事務局					
事業番号	0114200		事務事業	市議会議員選挙事務事業			細事業	—	
事業目的	令和5年4月30日任期満了に伴う市議会議員選挙の執行に先立ち、令和4年度末に立候補予定者に対し立候補の届出や選挙運動などについて説明を行うとともに、立候補に必要な様式等を配布し立候補への準備を促す。								
事業対象	市議会議員選挙立候補予定者		事業概要	令和5年4月に執行予定の市議会議員選挙立候補予定者に対し立候補予定者説明会を開催する。					
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名		
	●	●							
事業費 (円)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度			令和3年度		令和4年度		
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比
	55,055,978	—	—	—	—	—	4,102,000	—	—
事業の重要業績評価指標 (KPI)									
指標名 (単位)		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度			
				上半期	下半期 (見込み)	目標値			
立候補予定者説明会参加者		—	—	—	—	30			
令和2年度決算	今後の進め方 (成果と課題)								
	—	—							
令和4年度予算編成	現状分析								
	視点	現状分析	理由 (根拠)						
	事業目的に対する有効性	高い	市議会議員選挙の立候補届出や選挙運動について事前に説明会を開催し、市議会議員選挙の立候補受付等の事務が円滑に進められるようにする。						
	事業実施方法の妥当性	高い	立候補に必要な様式等を配布するとともに、手続きや選挙運動について、職員だけでなく警察署や郵便局の担当者も参加し説明会を開催している。						
次年度の実施方針と予算計上の考え方									
現状維持	任期満了により、令和5年4月に統一地方選挙として執行する予定の市議会議員選挙における立候補予定者説明会で配布する資料に必要なファイルや封筒等の消耗品の予算を計上する。 説明会に使用する資料等の準備は余裕をもって行い、万全の態勢で説明会を開催できるようにする。								